

令和3年度

年末・年始

セーフワーク

Safe Work 推進強調期間



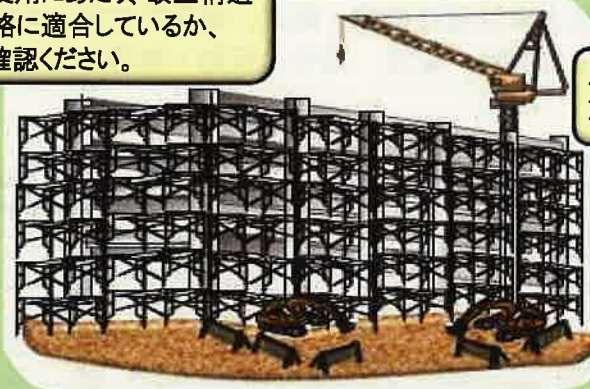
～建設業における死亡・重篤災害が増加中～
建設現場に対して集中パトロールを実施します！

期間 令和3年12月1日(水)～令和4年1月31日(月)

死亡災害では、依然として建設業が最多(本年10月末現在15人、前年同期比で4人増)であることから、集中的な建設現場の指導を実施します。



墜落制止用器具(安全帯)の使用にあたり、改正構造規格に適合しているか、ご確認ください。



足場の点検も忘れずに！



安全衛生管理活動の活性化と墜落・転落防止対策の徹底をお願いします！

～皆様へのお願い～

①年末年始の繁忙期をとらえた計画的、かつ、安全衛生に配慮した事業の運営
繁忙期には、安全衛生に配慮した計画的な事業運営を行うことが特に重要です。

②労働災害防止の気運の醸成に向けた取組

Safe Work ロゴマークの掲示、管理職や従業員への感染症防止に配慮した研修の実施、労働安全衛生に関する行事の開催、安全標語の募集を行うなど。

③各関係団体幹部、各事業場の経営トップによるパトロールの実施

④感染症防止に配慮した安全衛生大会等の開催

⑤積雪・凍結等、冬期における転倒防止、交通労働災害防止対策の徹底

⑥大掃除や棚卸し等の作業における脚立・はしごからの墜落、転落防止対策の徹底

⑦過去に発生した災害を踏まえた労働災害防止対策の徹底

⑧不安全行動防止のための「一人KY(危険予知)」等の実施

⑨その他、本強調期間にふさわしい創意工夫を凝らした取組

上記以外にも安全衛生の取組はたくさんあります。



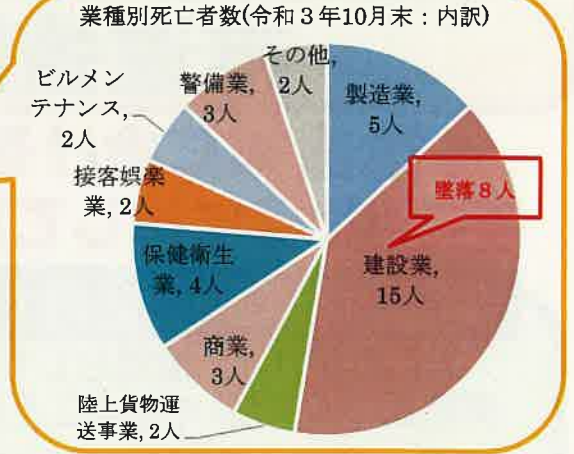
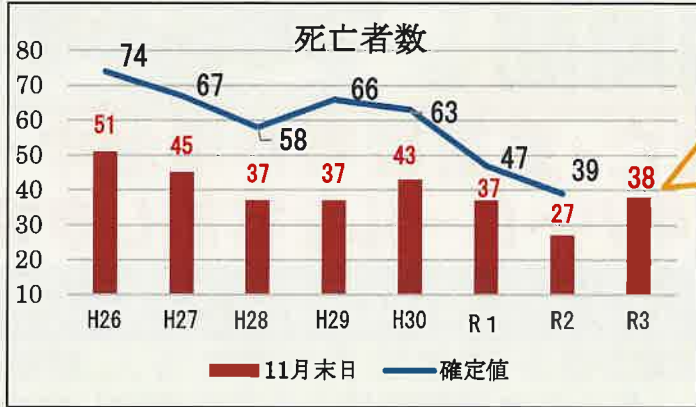
東京労働局・労働基準監督署

(2021.11)

令和3年（10月末時点）の東京労働局管内の労働災害発生状況は、以下のとおりです。
 年末・年始を迎えるにあたり、各事業場において、労働災害防止に向けた取組強化をお願いします！

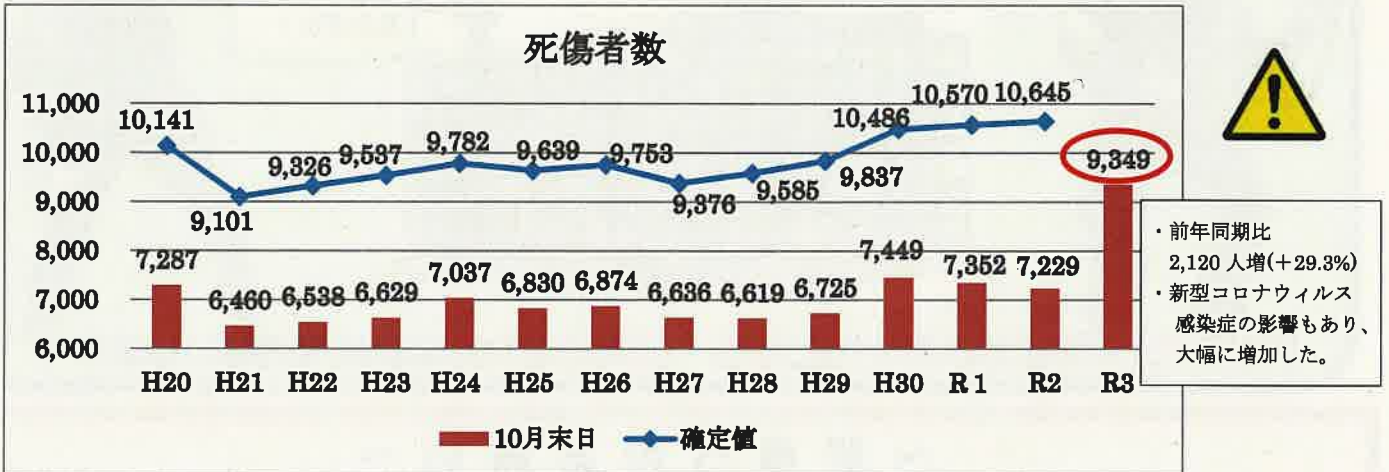
死亡者数 (38人)

- ・製造業5人、建設業15人、陸上貨物運送事業2人、商業3人、保健衛生業4人など。
- ・全業種で墜落・転落により13人死亡、前年より9人増加。



死傷者数 (9,349人)

- ・去年同期より大幅に増加。**4年連続で年間1万人を超える恐れ。**
- ・昨年と比べ、建設業、陸上貨物運送事業、商業、保健衛生業、清掃・と畜業で増加。
- ・業種横断的に事故の型では墜落・転落、動作の反動・無理な動作が増加。転倒災害も多発。



年末・年始に発生した災害事例 (令和2年12月～令和3年1月に発生)

製造業
 (年齢：60歳代)
 プレス機械による銘板抜き作業中に誤ってペダルを踏んでしまい、右手中指と薬指を切傷した。(休業3ヶ月)

建設業
 (年齢：60歳代)
 木造2階建ての解体工事において、1階の屋根上にある瓦の撤去作業中に墜落し、両腕を骨折した。(休業2ヶ月)

運輸交通業
 (年齢：60歳代)
 トラックからの荷下ろし作業中、ゲートリフターのストップ一部を踏んでしまい、後方に荷とともに墜落した。(休業3ヶ月)

接客娯楽業
 (年齢：50歳代)
 店内フロアにて、ビールグラスを両手に持って移動中、服が椅子に引っ掛かり転倒し右肩を骨折した。(休業3ヶ月)

労働災害発生状況、労働災害防止に関するパンフレット等は東京労働局ホームページをご覧ください。